

第1回浜松市わくわく発見！UDレポートコンテスト入賞作品紹介

中学生の部 最優秀賞

浜松市立南部中学校 3年 宮司 来実さん

子育てを助けるUD
3年 宮司 来実
浜松市立南部中学校

子育てを助けるUD

小さな子どもがいる家は朝から大忙しです。お出掛けする時もバタバタしてしまいます。そんな時、活躍するのはUDです。UDが手助けしてくれるおかげで、子どもは一人でできて嬉しいし、親は家事がはかどります。このように子育てをサポートしてくれるUDのすばらしさを表現しました。ぜひ、みなさんに知ってもらいたいです。

【講評】 見やすく、オリジナリティにあふれた作品です。子育ての経験がなくてもよく観察されていて感心しました。両側からおろせる工夫や、ストーリーの流れもわかりやすく、絵だけでなく文字で丁寧に解説されている点も、理解を助けています。タイトルに絵が散りばめられており、遊び心が感じられる楽しい仕上がりです。全体を通して、良く描けている作品だと思います。

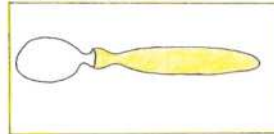
中学生の部 入選

浜松日体高校 1年 糸賀 愛哩さん

このスプーン、役割は？

私たちが普段使っているスプーン。実は見えない工夫がたくさん隠されているのです。

持ち手が太くなっているスプーン



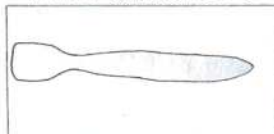
Q. なぜ持ち手が太いと、力が弱い人や握るのが苦手な人でも使いやすいの？
A. 握る面積が広がって、手全体で支えられるようになるから。少ない力で安定して持てるようになり、食事の身体的な負担が減り安心感につながる。

柄が曲がっているスプーン



Q. なぜ柄が曲がっているスプーンは、手首を動かすことが難しい人にとって役立つの？
A. スプーンの向きを自由に調整できるため、使う人の動作に合わせて角度を変えられるから。無理な姿勢をとると口や食べられるようになり、自由度が高まる。

すべりにくい素材でできたスプーン



Q. なぜ滑りにくいスプーンは安全なの？
A. 手のひらや指が汗ばんでいても滑りにくく、しっかりと握ることができるから。スプーンを落とすなどといった小さな事故を防ぎ不意な減ることで安心して食事を楽しむことができる。

浜松日体中学校 1年 糸賀愛哩

このスプーン、役割は？

私の曾祖母が施設に入っていたときにスプーンの形が変わっているものを使っていたため、普段私たちが使っているものとのような点が違うのか、それぞれどんな役割があるのか気になり、調べました。

【講評】 ご家族の方が使っていた時に見たものを探りたいという思いでこのレポートに取り組み、作者にとっての発見！を伝えたいという思いが伝わってきます。文字もきれいで読みやすく、わかりやすくまとめられた、レポートの見本となる作品です。ただ、ここで取り上げているスプーンは、介護の現場で使われているアイテムで、すべての人に使いやすいUDというよりは、特定の方の不自由を解消するためのものだということは、ご理解下さい。

中学生の部 入選

浜松市立開成中学校 2年 増井 香音さん

安心安全な段ボールプールを作る 開成中学校 2年 増井香音

考えて作るボランティア

私は、北部ジュニア公民館に参加しました。
私はボランティアとなり、段ボールプールを作ることに決めました。

テールの使い分け

紙テープ
段ボールの
角を隠す場所
糊テープ
段ボールの
角を隠す場所



点検
点検ポイント③
段差で足を引っかきやすい
場所がある危険です。
→ 段差をフラットに調整し、
段差をなくす。

プールを使うのは 幼児から小学生。
危険場所はないか使い手の目線で考えるのが大切です。
また、段ボールの高さを工夫して保護者が休けいしなから
子供を見守れるようにしました。

安心安全な段ボールプールを作ろう

私は、北部ジュニア公民館に参加し、段ボールプールを作りました。段ボールプールを使う幼児から小学生が安全に使うためだけでなく、保護者が安心して遊ばせられるためにも危険が無いよう念入りに注意をしました。使う人も見守る人も楽しめるUDな段ボールプールを作ることができました。

【講評】 段ボールプールを作るボランティアに参加する中で発見したUDについてのレポートとして、興味深く拝見しました。そもそもボランティアに参加し、「相手の気持ちに立って考える」という姿勢そのものが、UDの考え方に通じるものだと感じました。一方で、レポートの中で、段ボールプールそのもののUDが混在している部分があり、少し分かりにくく感じられるところもありました。そこを整理すると、さらに伝わりやすく、よい作品になると思います。

